

平成 30 年度事業報告

【総括編】

〔主な事業実績〕

事業名等	平成 30年度 (A)	平成 29年度 (B)	増減 (A)-(B)	摘要	
公益 目 的 事 業	不法投棄防止活動				
	県等主催街頭キャンペーン等 参加者数	147 名	119 名	28 名	7 支部全てで実施 (P5～P6)
	不法投棄撤去作業 参加者数 不法投棄撤去作業 箇所数	270 名 9 箇所	241 名 7 箇所	29 名 2 箇所	6 支部で実施 (P6)
	災害対策支援事業				
	情報伝達訓練 参加会員数 調査票回収率	326 社 82.2%	336 社 80.4%	△10 社 1.8%	(P7)
	ぼくらはさんばい探偵団 参加者数	132 組 318 名	132 組 343 名	△25 名	7 支部、8 コースで実施 (P8)
	施設見学会大学生等 参加者数	49 名	26 名	23 名	静岡県立大学、 東海大学(P8)
	環境イベント等啓発活動 参加者数	71 名 15 社	42 名 15 社	29 名	7 支部で実施(P9)
	講習会等				
	各種講習会等	19 回 939 名	18 回 783 名	1 回 156 名	改正法令等講習会の実施等 (P11～P12)
業許可等講習会	12 回 1,589 名	13 回 1,616 名	△1 回 △27 名	(P14～P15)	
マニフェスト頒布枚数	287,900 枚	335,900 枚	△48,000 枚	(P14)	
会 員 相 互 の 扶 助 事 業	各支部の勉強会等	7 回 918 名	8 回 940 名	△1 回 △22 名	7 支部全てで実施 (P16)
	各支部主催の視察研修会 参加者数	98 名	114 名	△16 名	7 支部全てで実施 (P17)
	本部主催の視察研修会 参加者数	94 名	85 名	9 名	(P17)
	表彰件数	23 件	15 件	8 件	知事褒賞、会長表彰、全産連会長表彰 (P18～P19)
	会員数	1,049	1,056	△7	(P23)

〔主な事業〕

≪公益目的事業≫

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄撲滅活動

①統一パトロールや街頭キャンペーンへの参加協力 (P5～P6)

6月の環境月間や12月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄防止統一パトロールや不法投棄撲滅街頭キャンペーンに支部毎に取り組み、役員等計147名が参加、協力した。

②不法投棄廃棄物の撤去作業等の実施 (P6)

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計270名の参加により、県内9か所の不法投棄廃棄物の撤去作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力し、テレビ放映や新聞掲載で報道された。

③「不法投棄監視ステッカー」の配布 (P7)

6月の環境月間に、「不法投棄監視ステッカー」を会員に配布し不法投棄監視強化を呼び掛けた。

(2) 災害対策支援事業の実施 (P7)

平成31年1月17日に静岡県が実施した地震対策オペレーション2019(大規模図上訓練)に併せて、協力会員326社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。

また、大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会や静岡県主催の災害廃棄物処理に関する会議等に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

2 適正処理啓発事業

(1) 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんばい探偵団」の実施 (P8)

平成5年度から26年間継続実施している、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、7支部8コースで実施し、小学生の親子等計132組、318名が参加した。

(2) 大学生を対象とした処理施設視察会等の実施 (P8)

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生を対象に実施し、学生等49名が参加した。静岡県立大学ではこの視察会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

(3) 環境イベント等への参加による啓発活動 (P9)

各支部の役員や会員が最寄りの市等が実施する環境イベント等に参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。東部支部では、会員企業が提供したリサイクル品等を販売し、その売上収益金約17万円を慈善事業に寄託した。

3 能力開発支援事業

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集 (P10)

(公社)全国産業資源循環連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計18回)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応 (P10)

機関誌「しずおかの産廃」やホームページなどにより、タイムリーな情報提供に努めるとともに、許可手続、適正処理、リサイクルなどの相談にも随時対応した。

(3) 各種講習会・研修会の開催

①実務向上研修会等の開催 (P11~P12)

廃棄物処理法改正等の周知を図るための「改正法令等講習会」、労働災害防止を図るための「安全衛生講習会」、電子マニフェスト操作体験セミナー、
「優良認定制度普及研修会」等を静岡市や浜松市等で18回開催し、計853名の参加があった。

特に、当協会の職員が講師を務めた電子マニフェストの研修会などは好評であった。

②暴力追放推進に関する講習会の開催 (P12)

暴力追放の推進を図るため、平成30年12月に開催した「不当要求防止責任者講習会」では86名の参加があった。

(4) 専門部会等の活動 (P13~P14)

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物、中間処理の各専門部会は、幹事会や講習会の開催、先進事例の視察、(公社)全国産業資源循環連合会の専門委員会等への参加などを通じて活発に活動した。

(5) 「しずおかの産廃」発行等事業 (P14)

協会機関誌「しずおかの産廃」及び「産廃技術ニュース」を年4回発行し、各種情報を提供した。

(6) 人材確保育成事業 (P14)

産業廃棄物に係る分野での新しい人材を確保するため、県内4校の特別支援学校生徒を対象に環境出前講座を実施した。

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業 (P14)

産業廃棄物処理の適正処理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を287,900枚頒布した。

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業 (P14~P15)

(公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業許可講習会等を12回開催し、1,498名の参加があった。

《会員相互の扶助事業》

1 支部運営事業

(1) 各支部主催の勉強会等の開催 (P16)

各支部において勉強会や講演会等を7回開催し、918名の参加があった。

(2) 各支部主催の視察研修会 (P17)

平成30年の秋から平成31年の春にかけて各支部毎に会員等計98名が参加し県内外の優良施設等を対象に視察研修を行った。

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業 (P17)

幅広く環境情報等を収集するため、平成30年5月に会員等94名が参加し東京ビッグサイトで開催された「2018NEW環境展」を対象に視察研修を行った。

(2) 暴力追放推進事業 (P17)

暴力追放推進協議会第19回大会を開催し、暴力追放宣言の斉唱などを行った。

(3) 労働安全衛生事業 (P17)

労働安全水準のなお一層の向上を図るため、平成31年度労働災害防止計画を策定した。

(4) 表彰

①(公社)静岡県産業廃棄物協会会長表彰 (P18)

平成30年6月6日に開催された定時総会に先立ち、平成29年度会長表彰が行われ、功労者表彰7名、優良従事者表彰8名、優良事業所表彰2社が受賞された。

②(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰 (P18~P19)

平成30年6月15日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会定時総会において、平成30年度同連合会会長表彰が行われ、当協会関係では、功労者表彰1名、地方功労者表彰3名、地方優良事業所表彰2社が受賞された。

(5) 人材確保育成事業 (P19)

大学生等が参加する合同企業説明会に出展した。

【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が全国ごみ不法投棄監視ウィーク(5月30日から6月5日)や環境月間(6月)に静岡県等の実施する統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成30年5月30日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員3名
	東部 "	沼津市、裾野市、清水町、長泉町、御殿場市、三島市	東部支部役員12名
	中部 "	焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員16名
	西部 "	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員4名
浜松市		浜松市	西部支部役員等14名
計			49名

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成30年6月1日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	JR静岡駅	中部支部役員等15名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員3名
	東部 "	JR富士駅	東部支部・富士支部役員等17名
	中部 "	JR藤枝駅	志太榛原支部役員等17名
	西部 "	JR磐田駅	中遠支部役員等10名
計			62名

- ② 支部役員等が不法投棄撲滅強化月間(12月)に静岡県の実施する不法投棄防止統一パトロールに参加、協力した。

不法投棄防止統一パトロール
実施日：平成30年12月3日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員3名
	東部	沼津市、裾野市、三島市 伊豆の国市、御殿場市	東部支部役員10名
	中部	焼津市、藤枝市、牧之原市、 吉田町、川根本町	志太榛原支部役員22名
	西部	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員1名
計			36名

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において最寄りの行政機関等の協力を得て不法投棄廃棄物の撤去・処分作業等を実施した。

支部名	実施日	実施機関	場所	実績	参加者
伊豆	平成30年 11月28日	伊豆支部 静岡県	松崎町 船田	カーペット等 2 m ³	伊豆支部役員、県職員、 松崎町職員等10名
富士	10月5日	富士支部 静岡県	富士宮市 山宮	建設廃棄物 15.3 t	富士支部役員、県職員、 富士宮市職員等23名
	平成31年 1月30日	富士支部 静岡県	富士宮市 山宮	建設廃棄物 8.5 t	富士支部役員等6名
中部	平成30年 5月30日	中部支部 静岡市	静岡市 葵区	一般廃棄物等 0.69 t	中部支部役員、 静岡市職員等32名
	12月7日	中部支部 静岡市	静岡市 葵区	コンクリートがら等 0.52 t	中部支部役員、 静岡市職員等21名
志太榛原	5月10日	志太榛原支部 静岡県	島田市 川根町	大型廃タイヤ 200本	志太榛原支部会員、 静岡県職員等32名
	11月3日	志太榛原支部	島田市 稲荷町	一般廃棄物 1.5 m ³	志太榛原支部会員、 支部会員家族等53名
中遠	平成31年 2月21日 ～22日	中遠支部 静岡県	掛川市 上内田	解体系廃棄物 17 m ³	中遠支部役員、県職員、 掛川市職員等20名
西部	平成30年 11月27日	西部支部 浜松市	浜松市 西区	生活ごみ、廃タイヤ等 1,330 kg	西部支部会員、 浜松市職員、自治会73名
計					270名

- ④ 平成 30 年 5 月 21 日に三重県四日市市において中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議が開催され、国、中部四県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)及び中部四県の政令市並びに中部四県協会等が参加し、産業廃棄物不法処理防止について情報交換等を行った。
- ⑤ 「不法投棄監視ステッカー」を会員に配布し、6 月の環境月間及び 12 月の不法投棄撲滅月間において、不法投棄監視強化を呼び掛けた。

(2) 災害対策支援事業

- ① 平成 31 年 1 月 17 日から 24 日にかけて災害廃棄物処理等の協力会員 326 会員を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。
- ② 平成 30 年 12 月 6 日に「災害廃棄物処理に関する机上演習に向けた事前勉強会及び発災時における災害廃棄物処理に関する机上演習(模擬演習)」が、平成 31 年 1 月 30 日に「災害初動時における災害廃棄物処理に関する机上演習」が静岡県主催により静岡市内で開催され、災害対策委員長と事務局がオブザーバーとして出席し、情報交換等を行った。
- ③ 平成 31 年 3 月 6 日に静岡市内で開催された「災害時応援協定締結事業者研修会(主催:静岡県)」に災害対策委員長と専務理事が出席し、情報交換等を行った。
- ④ 平成 30 年 8 月 29 日に静岡市で、平成 31 年 2 月 4 日に愛知県名古屋市で開催された「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」に専務理事が出席した。
- ⑤ 平成 30 年 12 月 17 日に愛知県名古屋市で開催された「大規模災害発生時災害廃棄物対策に関する中部ブロック図上演習(机上演習)」に事務局がオブザーバーとして出席し、情報交換等を行った。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんぱい探偵団事業

- ① 身近な環境学習の場の提供として、平成30年7月31日から8月6日にかけて、「ぼくらはさんぱい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」を7支部で実施(中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施)し、小学生の親子等132組318名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	平成30年 8月2日	・(株)駿河サービス工業 ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	10組 25名
東部	8月1日	・コアレックス信栄(株) ・アサヒ飲料(株)富士山工場	12組 30名
富士	8月3日	・高森商事(株) ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	17組 47名
中部 (静岡地区)	8月2日	・丸徳商事(有)穴原事業所 ・アサヒ飲料(株)富士山工場	18組 45名
中部 (清水地区)	8月6日	・(株)リサイクルクリーン 袋井工場 ・ハウス食品(株)静岡工場	17組 44名
志太榛原	8月1日	・(株)ヤクルト本社富士裾野工場 ・光陽産業(株)	20組 49名
中遠	8月2日	・浜松ホトニクス(株)豊岡製作所 ・(株)富士エコサイクル	20組 40名
西部	7月31日	・(株)富士エコサイクル ・ハウス食品(株)静岡工場	18組 38名
計			132組 318名

- ② 参加した小学生の親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんぱい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。
ポスター・標語の募集を行い、ポスター 36件、標語 84点の応募があった。

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会を実施した。

静岡県立大学では、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
平成30年 11月29日	・(株)ニッセー ・(株)ゲネシス	静岡県立大学大学院食品栄養科学部 環境生命科学科生及び教員 28名
平成31年 2月7日	・はごろもフーズ(株)富士山パスタプラント ・(株)チューサイ アースプロテクションセンター	東海大学海洋学部 環境社会科学科生及び教員 21名
計		49名

(3) 展示会等出展事業

各支部において最寄りの市等が実施する環境イベント等に出展・参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
伊豆	平成30年 11月4日	「ごみフェスティバル in 伊東」 ・不法投棄防止呼び掛け、ティッシュの配布等	役員等 5名
東部	平成31年 3月17日	「2019ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」 ・支部会員からの提供品によるバザー ・売上収益(170,025円)を寄託	役員等 15名
富士	平成30年 12月1日	「第12回富士市環境フェア」 ・環境クイズ等の実施	役員等 11名
中部	10月13日 ～14日	「第16回静岡市ごみリサイクル展」 ・廃食用油を使ったエコキャンドル作りの体験	役員等 11名
志太榛原	11月4日	「SBS わんぱくフェスタ」 ・リサイクルクイズの実施	役員等 10名
中遠	平成30年 7月19日 9月5日 11月8日 平成31年 2月7日	「環境教育プログラム」 ・掛川市立栄川中学校の生徒を対象に4回の環境教育を実施	役員等 19名
西部	8月～9月	浜松市西部清掃工場において、支部会員の環境等報告書を展示	会員 13社
西部	平成31年 2月2日 ～3日	「環境未来プロジェクト」 ・会員企業の廃棄物リサイクルに係る取り組みをパネル等で展示	会員 2社
計			71名 15社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社)全国産業資源循環連合会関係】

開催日	開催場所	会 議 名	出席者(協会)
平成 30 年 4 月 13 日	愛知県	中部地域協議会第 1 回専務理事会議	専務理事
6 月 15 日	東京都	第 8 回定時総会	会長、副会長、専務理事、理事
7 月 11 日	焼津市	中部地域協議会第 1 回会長・理事長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第 1 回全体会議	会長、副会長、専務理事、理事
7 月 26 日	東京都	第 1 回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
9 月 11 日	東京都	総務倫理委員会	専務理事 (オブザーバー)
10 月 10 日	東京都	第 41 回理事会	副会長
10 月 26 日	三重県	中部地域協議会第 2 回専務理事会議	専務理事
11 月 9 日	東京都	全国正会員事業研修	担当者
11 月 16 日	石川県	第 17 回産業廃棄物と環境を考える全国大会	会長、副会長、専務理事
12 月 4 日	東京都	第 4 回法制度対策委員会	副会長
12 月 19 日	東京都	第 1 回教育研修委員会	専務理事
平成 31 年 1 月 18 日	東京都	第 42 回理事会	副会長
		新年賀詞交歓会	副会長、専務理事
1 月 24 日	岐阜県	中部地域協議会第 3 回専務理事会議	専務理事
2 月 1 日	東京都	第 2 回全国正会員事務局責任者会議	事務局
2 月 5 日	愛知県	中部地域協議会第 2 回会長・理事長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第 2 回全体会議	会長、副会長、専務理事
2 月 22 日	熊本県	全国正会員会長・理事長会議	副会長、専務理事
3 月 5 日	東京都	第 5 回法制度対策委員会	副会長
3 月 12 日	東京都	第 43 回理事会	副会長

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

産業廃棄物処理業許可手続をはじめ、適正処理やリサイクル等に係わる指導、相談を協会本部で電話等により随時対応した。

(3) 講習会事業

①改正法令等講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 6 月 27 日 6 月 18 日 6 月 21 日	沼津市 静岡市 浜松市	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理法の改正について ・本県の不法投棄対策について ・電子マニフェストシステムについて 	計 405 名

②環境管理講座

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 9 月 27 日	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業の環境管理事例 ヤマハ発動機㈱ はごろもフーズ㈱ ・第 4 次循環型社会形成推進基本計画について 	85 名

③産業廃棄物処理実務者研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 7 月 10 日	静岡市	「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース－」 <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の基礎 ・産業廃棄物の委託処理と委託契約 ・産業廃棄物管理票、帳簿 	127 名

④電子マニフェストシステム実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 8 月 23 日 24 日 29 日 平成 31 年 2 月 13 日 15 日 21 日	浜松市 三島市 静岡市 静岡市 三島市 浜松市	「電子マニフェスト操作体験セミナー」 <ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストシステムの操作体験 ※8 月開催分は各会場とも午前、午後各 1 回開催 ※2 月開催分は各会場とも午後 1 回開催	計 126 名

⑤産業廃棄物処理業者優良認定推進事業【県委託事業】

i) 産業廃棄物処理業者優良認定制度普及研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 9 月 7 日	静岡市	[基礎研修] ・産業廃棄物処理業振興への期待 ～排出事業者から選ばれるために～ ・優良産廃処理業者認定制度の概要 [実務研修] ・優良産廃処理業者認定制度の活用について ・取組事例① (株)チューサイ ② 浜松ホトニクス(株) ・優良認定申請手続きについて	43 名

ii) 産業廃棄物処理業者優良認定制度実践研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 9 月 28 日 10 月 12 日 10 月 26 日	静岡市	産廃情報ネット「さんばいくん」を利用した情報公表のための入力作業を行い、優良廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す研修会	13 社

⑥安全衛生講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 31 年 2 月 20 日 2 月 6 日 2 月 26 日	沼津市 静岡市 浜松市	・県内廃棄物処理業における事故事例と対策等 ・産業廃棄物処理業における労働災害防止計画について ・安全衛生活動取組事例 *各会場 1 社 (株)ミダック、(株)チューサイ、東名興産(株) ・基本的安全衛生活動と安全衛生ツールの活用	計 54 名

⑦不当要求防止責任者講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
平成 30 年 12 月 20 日	静岡市	・暴力団情勢、暴力団対策法、県暴力団排除条例の概要 ・反社会的勢力への対応要領等	86 名

(4) 専門部会活動事業

①医療廃棄物部会

- i) 平成30年8月23日、平成31年1月21日に幹事会を開催し、医療廃棄物合同懇談会及び部会事業等について協議した。
- ii) 平成30年9月14日に神奈川県で当協会、(一社)東京都産業廃棄物協会、(公社)神奈川県産業資源循環協会との医療廃棄物合同懇談会を開催し、医療廃棄物の適正処理について意見交換した。
- iii) 平成30年8月2日に静岡市で開催された「鳥インフルエンザ等発生時の防疫作業協力協定締結団体との研修・情報交換会(主催：静岡県)」に部会幹事が参加した。
- iv) 平成30年10月10日に浜松市で開催された「鳥インフルエンザ防疫演習(主催：静岡県)」に部会員が参加した。
- v) 平成31年2月6日に豚コレラの愛知県内発生を受け開催された「静岡県豚コレラ防疫対策会議」の内容を部会員に情報提供した。
- vi) 平成30年6月7日、11月21日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会医療廃棄物運営委員会に部会長が出席した。

②建設廃棄物部会

- i) 平成30年12月13日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 平成31年3月21日に「太陽光発電設備リサイクル技術等見学会」を開催し、会員等9名が愛知県名古屋市のリサイクルテック・ジャパン(株)を見学した。
- iii) 平成30年5月21日、6月29日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会建設廃棄物部会運営委員会に部会長が出席した。

③食品廃棄物部会

- i) 平成30年12月21日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 平成31年3月20日の「バイオマスリサイクル技術見学会」を開催し、会員等8名が県畜産技術研究所、県富士農林事務所、富士宮市とのバイオマス利活用についての意見交換及び富士宮市の富士朝霧バイオマスプラントの見学に参加した。

④中間処理部会

- i) 平成30年8月23日、12月13日に部会幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 平成30年8月23日に部会幹事と静岡県行政書士会環境委員会との意見交換会を開催した。
- iii) 平成30年8月に部会員を対象に中間処理業現状把握調査を実施した。
- iv) 平成31年2月14日に部会総会及び勉強会を開催し、部会事業等について協議した。

中間処理業務における異物混入対策をテーマとした勉強会には、部会員企業2社による取り組み事例を会員34名が受講した。

⑤青年部会

- i) 平成30年4月4日、5月16日、6月25日、8月21日、9月25日、10月26日、平成31年1月22日、3月1日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。

- ii) 平成 30 年 5 月 16 日に総会及び勉強会を開催し、平成 29 年度事業等の報告をした。勉強会には、一般社団法人熊本県産業資源循環協会 青年部会を招き、「熊本地震」に係る災害廃棄物処理対応」等についての講話を会員 28 名が受講した。
- iii) 平成 30 年 7 月 19～20 日の視察研修会には、部会員等 16 名が参加して、エコア熊本を見学した。
- iv) 平成 30 年 9 月 14 日に(一社)山梨県産業廃棄物協会青年部、(公社)神奈川県産業資源循環協会青年部会との富士山合同清掃活動(河口湖周辺)を行った。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年 4 回発行し、協会本部や各支部の活動状況、行政機関から寄せられた情報等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

(6) 人材確保育成事業

- ① 平成 30 年 11 月 5 日、11 月 12 日、11 月 28 日、12 月 3 日に県内 4 校（沼津、清水、藤枝及び浜松聴覚）の特別支援学校の生徒を対象に環境出前講座を行ない、その様子がテレビ放映や新聞掲載で報道された。(主体 青年部会)

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を頒布した。

【平成 30 年度実績】

種 類	頒 布 枚 数 (枚)
産業廃棄物管理票	201,700
建設マニフェスト	86,200
合 計	287,900

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

- ① (公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業の新規許可申請者、更新許可申請者、特別管理産業廃棄物管理責任者を対象に講習会を計 12 回開催し、計 1,498 名の参加があった。

【受講状況】

種 類	開催回数(枚)	参加者(名)
産業廃棄物収集運搬課程【新規】	3	420
〃 【更新】	4	501
産業廃棄物処分課程【更新】	1	91
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	577
計	12	1,589

- ② 平成 31 年 2 月 18 日に東京都で開催された「平成 31 年度許可講習会における事務取扱説明会(主催:(公財)日本産業廃棄物処理振興センター・(公社)全国産業資源循環連合会)」に事務局が出席し、情報交換等を行った。

II 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部(伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部)では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

支部総会……………各支部6月に開催

支部委員会………随時

(2) 「支部だより」の発行

伊豆、東部、富士、中部、志太榛原の各支部で発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者(名)	備考
伊豆	平成30年 6月11日	静岡県副知事 土屋優行氏による講演 「伊豆半島地域の創生に向けて」	17	
東部	平成31年 2月22日	「勉強会」 ・PCB廃棄物の早期適正処理に向けて ・排出事業者の良きパートナー～排出事業者に選ばれる廃棄物処理業者とは	37	
富士	3月12日	「合同勉強会」 ・人生楽しむ！タイムマネジメント研修 ～自分らしくいきいきと働くための秘訣～ ・大気の現状について	35	(一社)富士環境保全協会と共催
中部	3月22日	「勉強会」 ・「働き方改革」のポイント！労務管理セミナー ・廃棄物処理法の改正について (平成31年4月施行分)	56	
志太榛原	平成30年 6月1日	「講演会」 ・社会人のビジネスマナー講座	43	
中遠	6月15日	「ドローンの魅力とビジネスへの活用」	30	
西部	平成31年 3月6日	「浜松市産業廃棄物の適正処理に係わる説明会」 ・廃棄物処理法と排出者責任 ・廃棄物管理のよくある質問 ・特別講演「違反事例に学ぶ廃棄物処理法2019」	700	浜松市と共催
計			918	

(4) 優良施設視察研修会の実施

支部名	開催日	見 学 先	参加者(名)
伊豆	平成 30 年 11 月 7 日 ～ 8 日	・(株)Jバ イオフードリサイクル横浜工場 (神奈川県) ・石坂産業(株)くぬぎの森環境塾 (埼玉県)	10
東部	12 月 17 日	・エコプロダクツ 2018 (東京都)	11
富士	10 月 18 日 ～19 日	・トヨタ会館 (愛知県) ・建設技術フェア 2018in 中部 (愛知県) ・アサヒビール(株)名古屋工場 (愛知県)	11
中部	10 月 18 日 ～19 日	・(株)マルコー商会富士見リサイクルセンター (愛知県) ・アサヒビール(株)名古屋工場 (愛知県)	15
志太榛原	9 月 12 日	[第 1 回] ・(株)リコー環境事業開発センター (御殿場市) ・キルデ イスティアル-富士御殿場蒸留所 (御殿場市)	16
	平成 31 年 3 月 8 日	[第 2 回] ・展示会「FOODEX JAPAN 2019」(千葉県)	12
中遠・西部	2 月 15 日	・P Vテクノサイクル(株) (東京都) ・S. P. E. C(株)エコレ城南島 (東京都)	23
計			98

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業

本部による県外優良施設の視察研修は、平成 30 年 5 月 22 日に「2018NEW 環境展」を対象に会員 94 名の参加により実施し、廃棄物処理、リサイクル技術、企業の環境経営等の情報収集に努めた。

(2) 暴力追放推進事業

- ① 平成 30 年 6 月 6 日の定時総会開催後に「(公社)静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第 19 回大会」を開催し、暴力追放宣言の斉唱などを行った。
- ② 平成 30 年 10 月 16 日に藤枝市内で開催された「第 36 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」に中部支部・志太榛原支部役員等 16 名が参加した。

(3) 労働安全衛生事業

- ① 労働災害 20%以上の削減を目指す平成 31 年度労働災害防止計画を策定し、安全衛生講習会等の場で会員(産業廃棄物処理業者)に周知した。

(4) 表彰

①(公社)静岡県産業廃棄物協会会長表彰

平成30年6月6日の定時総会に先立ち平成29年度会長表彰が行われ、功労者表彰7名、優良従事者表彰8名、優良事業所表彰2社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	(株)新光重機土木 成生浩一
	東レ(株)三島工場 松田竜明
	東海クリーンシステム(株) 芹澤清一
	三井ケマーズ・フロップ・ロダック(株)清水工場 坂本和則
	元 NEC プラットフォームズ(株)掛川事業所 赤堀和彦
	(株)コーシンサービス 青島邦信
	公益社団法人静岡県産業廃棄物協会 瀬崎秀五
優良従事者表彰	(株)イーシーセンター 工藤清功
	日立ジョンソンコントロールズ空調(株)清水事業所 大和田美加子
	日徳産業(有) 増田麻紀
	丸徳商事(有) 居城周策
	(株)静岡環境保全センター 大村勝則
	(株)静岡環境保全センター 大石栄喜
	(株)堀内土木 村松昌和
	(株)ミダック 袴田謙二
優良事業所表彰	(株)静岡環境保全センター
	東名興産(株)

③(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

平成30年6月15日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会の定時総会での表彰式において、当協会会員の中から、功労者表彰1名、地方功労者表彰3名、地方優良事業所表彰2社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	小原工業(株) 小原進一
地方功労者表彰	(株)レックス 揚張旨彦
	(株)駿河サービス工業 向笠光夫
	(有)小浜組 小濱 渉
地方優良事業所表彰	アサヒプリテック(株)静岡営業所
	静和ケミカルサービス(株)

(5) 人材確保育成事業

平成31年3月2日に静岡市内で行われた静岡新聞社主催の合同企業説明会に出展し、会員事業所(1社)の企業説明とパンフレット掲示による会員企業の紹介を行った。

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

平成30年6月6日にグランディエールブクトーカイで平成30年度定時総会が開催され、議案2件が原案どおり決議(承認)された。

また、報告1件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び平成29年度収支決算書 承認の件
第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件

【報告事項】

- (1) 平成30年度事業計画書及び平成30年度収支予算書

【出席等】

議決権のある当法人の会員総数	1,005名
決議に必要な会員数	1,005名
出席会員数	656名

(議決権行使書面によるもの555名含む)

(2) 理事会

- ① 平成30年4月24日に中島屋グランドホテルで第1回理事会が開催され、議案3件が原案どおり決議(承認)され、そのうち2件が平成30年6月6日開催の定時総会に付議された。

また、報告2件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び平成29年度収支決算書 承認の件
第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件
第3号議案 新規会員の入会 承認の件

【報告事項】

- (1) 平成29年度下半期事業の実施状況
(2) 中部地域協議会から「全産連」役員等候補者の推薦

【出席等】

理事総数	28名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数	21名
出席監事数	2名

- ② 平成30年6月6日にグランディエールブクトーカイで第2回理事会が開催され、議案4件が原案どおり決議(承認)された。

【決議事項】

- 第1号議案 会長、副会長、専務理事の選定
第2号議案 副会長の会長職務の代行順序と業務分担
第3号議案 支部長の任命
第4号議案 新規会員の入会 承認の件

【出席等】

理事総数	27名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数	22名
出席監事数	1名

- ③ 平成30年10月31日に中島屋グランドホテルで第3回理事会が開催され、議案2件が原案どおり決議(承認)された。

また、報告5件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 会計処理規程改正の件
第2号議案 新規会員の入会 承認の件

【報告事項】

- (1) 本県で開催された中部地域協議会全体会議の概要
(2) 公益社団法人全国産業資源循環連合会役員当協会関係者就任状況
(3) 人材確保育成事業の公益認定について
(4) 女性部設置に関する全産連アンケート調査結果について
(5) 平成30年度上半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数	27名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数	21名
出席監事数	1名

- ④ 平成31年3月18日に中島屋グランドホテルで第4回理事会が開催され、議案4件が原案どおり決議(承認)された。また、報告2件が行われた。

【決議事項】

- 第1号議案 平成31年度事業計画書及び平成31年度収支予算書の件
第2号議案 平成31年度定時総会の開催の件
第3号議案 新規会員の入会 承認の件
第4号議案 平成30年度会長表彰の件

【報告事項】

- (1) 平成31年度「全産連」会長表彰に係る被表彰者の推薦
(2) (公財)産業廃棄物処理事業振興財団の「経営相談会」会員募集への協力

【出席等】

理事総数	27名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数	20名
出席監事数	2名

(3) 運営委員会

平成30年4月12日、10月24日、平成31年3月5日に運営委員会が開催され、総会及び理事会へ付議する議案等についての協議が行われた。

(4) 適正処理委員会

平成30年10月25日、平成31年3月4日に適正処理委員会が開催され、適正処理事業等についての協議が行われた。

(5) 広報委員会

①会議

平成30年5月11日、9月6日、12月5日、平成31年3月7日に広報委員会が開催され、機関誌等の発行をはじめ、ぼくらはさんばい探偵団や産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画、人材確保育成事業等についての協議が行われた。

②主な広報PR

- i) エフエム放送局 K-MIX 社が6月に実施する「グリーンスタイルキャンペーン」に協賛して、エコ新聞への広告掲載やラジオCMによる当協会のPRを行った。
- ii) 平成30年10月5日の富士支部が富士宮市山宮で実施した不法投棄廃棄物撤去作業がテレビ放映及び新聞掲載された。
- iii) 東部支部の平成31年3月17日開催の「2019 ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」でのバザー収益金(170,025円)の「愛の都市訪問」への寄託が新聞に掲載された。

(6) 安全衛生委員会

平成30年11月21日、平成31年1月23日に安全衛生委員会を開催し、労働災害防止計画の策定等について協議した。

(7) 災害対策委員会

平成30年10月25日に災害対策委員会及び行政機関との意見交換会を開催し、災害廃棄物処理等に関する協定の運用や情報伝達訓練の実施等について協議した。

意見交換会では、県及び浜松市と災害廃棄物仮置場の運營業務のあり方等について協議した。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の入会促進

会員以外も参加する講習会等において、入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努め8件の入会があった。

その一方で15件の退会等があったため、平成30年度末の会員総数は1,049会員となった。

【平成 30 年度会員数の推移】

区 分		平成 30 年 4 月 1 日	入 会	退 会	平成 31 年 3 月 31 日	
正 会 員	処 理 業 者	収集運搬	334	3	6 (1)	331
		中間処分	304	4	4	304
		最終処分	31	0	1	30
	小 計		669	7	11 (1)	665
	排出事業者	排出事業者	311	1	1	311
		団 体	25	0	0	25
	小 計		336	1	1	336
計		1,005	8	12 (1)	1,001	
賛 助 会 員		51	1	4 (1)	48	
合 計		1,056	9	16 (2)	1,049	

※退会等の主な理由

- ・ 処理業者では、業の廃止、業務の縮小、会費が1年以上未納等
- ・ 排出事業者と賛助会員では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

※退会の欄の（ ）の数字は、内数で、会費の1年以上未納等による会員資格の喪失

※入会・退会の欄の数字は、区分変更をした会員を含む
(最終処分から中間処理へ変更1社)

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや情報配信等に役立てた。

附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。